

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110008	X-01-A-1-110008			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員	2	前期		基礎	選択	1年
哲学	阿部 ふく子				基礎	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年

#### 授業目的

西洋哲学の基本的な主題と思考方法をいくつか取り上げて講義します。講義内容は主題別の構成をとりますが、哲学史的な背景についても適宜説明を補いながら進めたいと思います。〈自分自身で哲学的に考えること〉・〈哲学の知識を身につけること〉という二つのアプローチを通じて、論理的・批判的思考力を養うとともに洞察力や解釈力を鍛え、個別性と普遍性とに豊かに開かれた精神を形成してゆくことをめざします。

当科目的内容は下記のディプロマポリシーと関連しています。

〈グローバルな課題への問題意識と国際教養を体得すること〉

〈自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表できること〉

#### 各回の授業内容

第1回	【授】 哲学的問いの射程 【前・後】復習2時間(配付資料)	第9回	【授】 何かを認識するとはどういうことか③:カントの超越論的哲学 【前・後】予習2時間(教科書78-83, 88-90頁)、復習2時間(配布資料)
第2回	【授】 哲学と常識はどう違うのか①——ソクラテスの「無知の知」 【前・後】予習2時間(教科書16-19頁)、復習2時間(配布資料)	第10回	【授】 何かを認識するとはどういうことか③:カントの超越論的哲学 【前・後】予習2時間(教科書96-101頁)、復習2時間(配布資料)
第3回	【授】 哲学と常識はどう違うのか②——プラトンの「洞窟の比喩」 【前・後】予習2時間(教科書20-23頁)、復習2時間(配布資料)	第11回	【授】 私とは何か①——フィヒテの自我論 【前・後】予習2時間(教科書106-107頁)、復習2時間(配布資料)
第4回	【授】 哲学と常識はどう違うのか③——ヘーゲルの弁証法 【前・後】予習2時間(教科書110-115頁)、復習2時間(配布資料)	第12回	【授】 私とは何か②——実存哲学 【前・後】予習2時間(教科書120-121頁)、復習2時間(配布資料)
第5回	【授】 幸福・善とは何か①——アリストテレスの生 【前・後】予習2時間(教科書24-29頁)、復習2時間(配布資料)	第13回	【授】 私とは何か③——フロイトの欲望論 【前・後】予習2時間(教科書130-133頁)、復習2時間(配布資料)
第6回	【授】 幸福・善とは何か②——功利主義 【前・後】予習2時間(教科書118-119頁)、復習2時間(配布資料)	第14回	【授】 値値とは何か——ニーチェ 【前・後】予習2時間(教科書126-129頁)、復習2時間(配布資料)
第7回	【授】 幸福・善とは何か③——カントの義務倫理学 【前・後】予習2時間(教科書102-103頁)、復習2時間(配布資料)	第15回	【授】 まとめ 【前・後】復習2時間(配布資料)
第8回	【授】 何かを認識するとはどういうことか①:デカルトの方法的懷疑 【前・後】予習2時間(教科書64-71頁)、復習2時間(配布資料)	第16回	【授】 試験 【前・後】講義にて指示

#### 成績評価方法

毎回課されるコメントペーパー(30%)、および記述式の期末試験(70%)による。

コメントペーパーは各回の講義内容に関連する簡単な質問に答えてもらう方式です。提出回数ではなく内容で評価します。

#### 教科書・参考書

貴成人『図説・標準 哲学史』、新書館、2008年(1,575円)

(※講義はPower Pointのレジュメに即して進めますが、哲学史全体が概観でき、予習・復習にも役立つ資料として上記のテキストも適宜参照しますので、購入のうえ授業に臨んでください。)

#### 受講に当たっての留意事項

- 上記テキスト等を用いて毎回予習のうえ授業に臨むこと。
- 毎回の講義で配布した資料にはすべて目を通すこと。
- 講義時に紹介する原典や参考文献等にも積極的に手を伸ばし、自主的に学習を進めることが望ましい。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		×

#### 学習到達目標

- 哲学の基本的な用語、主要な問い合わせ、議論を理解し説明することができる。
- 上記の理解を、個人的・日常的な所感や出来事にも柔軟に適用し、自ら哲学的な問い合わせを立て、見解を述べることができる。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習